

秋田市学校適正配置

# 河辺地域ブロック協議会だより

第1号

秋田市教育委員会では、今年3月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内7つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

## <河辺地域ブロック>

基本方針では、市内7つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校（岩見三内小、河辺小、戸島小） 3校 → 1校 を上限

中学校（岩見三内中、河辺中） 2校 → 1校 を上限

この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

## 第1回河辺地域ブロック協議会の協議内容

令和元年8月20日（火）18時30分から、河辺市民サービスセンターにおいて、第1回河辺地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

### <議題>

- 秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- 河辺地域における現状と課題について
- 学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について

### <今回の協議で合意した事項>

#### ★引き続き意見交換を行う★

○河辺地域ブロック内の学校の組み合わせを考えるため、今回の協議内容を踏まえ、各所属団体の意見を集約し、次回以降も現状や課題について協議を続けていきます。



### <協議の中で出された主な意見・質問>

学校の統合は、集団規模（児童生徒数）だけを基準として進めるのか。少人数でも頑張っている学校はたくさんある。小規模校として残してもよいのではないか。

人口ビジョン目標よりは、国立社会保障・人口問題研究所の推計の方が実態に近いと感じている。どちらの推計を優先させるのか。

### <教育委員会の対応案>

小規模校にもメリットはありますが、人数が少ないゆえに、できないことや選べないことがあり、子ども達が様々な経験を通じて成長するためには、学校に一定規模の集団が確保されていることが望ましいと考えています。

秋田市としての将来人口の目標値に近づけることを念頭に置きながら、国の推計値も勘案しているものであり、両方の推計を見ながら取り組みを進めてまいります。

基本方針では、通学距離が小学校では4 km以内、中学校では6 km以内とあるが、河辺地域はこの範囲を超えているのではないか。

統合により、この範囲を超える場合には、スクールバスを運行するなど、適切な交通手段を確保した上で、通学時間が概ね1時間以内となるように対応してまいります。

河辺地域ブロック協議会としての結論はいつまでに出せばよいのか。



7つの地域ブロックでは、地域性の違いがあることから、一律に何年以内という期限を設けていません。期限の目標なども、各地域ブロックで協議、検討を行っていただきたいと考えています。

※ その他、「児童生徒数が減った場合、1つの学校だけでは部活動を継続することは難しい」「今日が学校適正配置の協議のスタートラインなので、委員や教育委員会からもっと話が聞きたい」「雄和地域の統合の事例を紹介してほしい」などの意見がありました。

**地域ブロック協議会委員** 河辺地域の委員は、次のとおりです。(全12名)

	No.	団体名		No.	団体名
地域委員	1	河辺の郷自治協議会	保護者委員	1	岩見三内中学校PTA
	2	豊島地区町内会長会		2	河辺中学校PTA
	3	岩見三内地区町内会長会		3	岩見三内小学校PTA
	4	和田地区町内会長会		4	河辺小学校PTA
	5	河辺地域子育て支援ネットワーク連絡会		5	戸島小学校PTA
	6	河辺地区体育協会連絡協議会		6	私立幼稚園認定こども園協会推薦

**第2回河辺地域ブロック協議会の開催予定**

日時：令和元年10月29日(火)18時30分～

会場：河辺市民サービスセンター 地域文化ホール

議題：河辺地域における小・中学校の統合に向けた協議について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

**●お問い合わせ先●**

秋田市教育委員会学校適正配置推進室

秋田市山王一丁目1番1号

電話 888-5812

FAX 888-5804

e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>

